



平成 20 年 9 月 30 日

各 位

会社名 イズミヤ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 林 紀 男  
(コード番号 8266 東証、大証第 1 部)  
問合せ先 取締役執行役員  
秘書・広報室長兼経営企画室長  
田中 博和  
(TEL. 06-6657-3310)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 4 月 9 日に公表しました平成 21 年 2 月期の業績予想（連結・単体）を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 2 月期業績予想の修正(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(1) 連結中間期(平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	193,000	3,900	3,300	1,500
今回修正予想 (B)	189,800	3,280	2,740	1,030
増減額 (B-A)	△3,200	△620	△560	△470
増減率	△1.7%	△15.9%	△17.0%	△31.3%
(ご参考) 前中間期実績 (平成 20 年 2 月期中間期)	189,019	3,674	3,039	901

(2) 連結通期(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	390,000	8,300	7,000	3,200
今回修正予想 (B)	386,000	7,200	6,000	2,200
増減額 (B-A)	△4,000	△1,100	△1,000	△1,000
増減率	△1.0%	△13.3%	△14.3%	△31.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 2 月期)	381,066	6,794	5,551	2,010

(3) 単体中間期(平成20年3月1日～平成20年8月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	171,000	2,100	1,950	900
今回修正予想 (B)	168,710	1,750	1,670	750
増減額 (B-A)	△2,290	△350	△280	△150
増減率	△1.3%	△16.7%	△14.4%	△16.7%
(ご参考) 前中間期実績 (平成20年2月期中間期)	168,702	2,009	1,908	1,499

(4) 単体通期(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	345,000	4,700	3,950	1,800
今回修正予想 (B)	342,000	4,300	3,700	1,100
増減額 (B-A)	△3,000	△400	△250	△700
増減率	△0.9%	△8.5%	△6.3%	△38.9%
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月期)	339,870	3,567	2,990	1,739

## 2. 業績予想修正の理由

### (1) 中間期

当中間期におきましては、食料品を中心とした生活必需品の価格高騰や、ガソリン価格の高騰等により、お客様の生活防衛意識が高まりました。そのような環境の中、価格訴求を徹底追求する新業態の「スーパーセンター」と「まるとく市場（ディスカウント型食品スーパー）」が好調に推移しました。しかしながら、荒利率の高い衣料品全般と住居関連品のホームファニッシングが買い控えの影響を受けて売上高構成比を落としました。グループ各社におきましては、内食傾向が高まる中、食品スーパーを展開するカネート株式会社が増収増益となりましたが、一方で、荒利率の高い衣料品を中心に扱う株式会社テンファッションズが買い控えの影響を受けて減収減益となりました。また、イズミヤカード株式会社は貸金業法への対応として平成19年12月11日よりキャッシングサービスの新規融資分の利率を17.95%に引き上げたこと等により減収減益となりました。これらの結果、連結・単体とも前回の業績予想を下回る見通しです。

### (2) 通期

当中間期の業績修正により、通期の業績予想を連結、単体ともに上記のとおり修正いたします。なお、連結は増収増益を確保する見通しとなっております。

※上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上